

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	渡邊 久晃	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（商学）※令和7年3月取得	職位	講師
専門分野	消費者行動論、マーケティング		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	マーケティング論、ビジネスとデータサイエンス、専門演習1a、1b、基礎演習
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）サービス・マーケティング	
（2）環境配慮行動	
（3）	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6	〈論文〉須賀涼太・渡邊久晃（2024）「マーケティング分野における顧客コンプライアンス研究の現状と課題」『京都マネジメントレビュー』、第45巻、69-82頁、査読なし 〈 〉
R5	〈論文〉渡邊久晃（2023）「自然感の影響：既存研究の整理と今後の研究の方向性」『マーケティングジャーナル』、第43巻第1号、75-82頁、査読あり 〈論文〉渡邊久晃（2023）「持続可能な消費者行動に関する文献レビュー：2019年以降の研究潮流と今後の展望」『六甲台論集』、第70巻第1号、17-33頁、査読なし 〈学会発表〉触覚経験の顕著性がリサイクル行動に及ぼす影響：心理的所有感の役割に着目して、渡邊久晃、日本消費者行動研究学会、第66回消費者行動研究カンファレンス、2023年5月
R4	〈学会発表〉硬さの感覚が持続可能性知覚に及ぼす影響、渡邊久晃、日本消費者行動研究学会、第65回消費者行動研究カンファレンス櫻尾俊雄論文プロポーザル賞報告、2022年10月 〈 〉
R3以前の主な研究業績	
（1）〈学会発表〉プロフェッショナル・サービスにおいて非流暢性が顧客アドヒアランスに及ぼす影響：医療サービスを対象に、渡邊久晃、日本消費者行動研究学会、第63回消費者行動研究カンファレンス、2021年10月	
（2）〈学会発表〉Exploring the possibility of applying fluency in service quality research、Hisaki Watanabe、ICServ2020、The 7th International Conference on Serviceology、2020年3月	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本商業学会、日本消費者行動研究学会、日本マーケティング学会	